

平成29年度熊本県堆肥生産技術コンクール出品堆肥腐熟度判定結果

分析機関 JA鹿本 開発センター、農業研究センター畜産研究所
コメント作成:

通しNo	
地域	上益城
生産者名	(有)ビッグランドグループ さま
堆肥原料	鶏

1 堆きゅう肥の成分分析結果

(分析値は現物当たりの%で示した。1%で1t当たり10kgに相当する。)

項目	水分	pH(1:20)	EC(1:20)	全窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	塩素	炭素	炭素率	銅(ppm)	亜鉛(ppm)
分析値	33.0	8.2	5.2	1.3	5.0	2.7	14.2	1.3	1.4	10.7	7.8	-	
評価 *1	高い	低い	やや高い	低い	標準	やや低い	標準	標準	やや高い	低い	標準		
堆肥1t中の肥料成分量(kg)				6.7	39.8	24.3							

*1 評価基準は水分:40~60%,EC:6.0ms/cm以下、炭素率:30以下、塩素:1%以下で判定した。
評価については畜種ごとの平均に対して比べたもの。

参考)熊本県における堆肥の分析平均値

項目	水分	pH(1:20)	EC(1:20)	全窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	塩素	炭素	炭素率
平均値+σ	29.3	10.1	5.4	3.3	6.6	4.3	19.5	1.7	1.6	24.2	10.0
平均値	20.1	9.3	4.6	2.5	5.3	3.3	13.9	1.4	1.1	19.2	8.3
平均値-σ	10.9	8.5	3.8	1.8	4.1	2.4	8.2	1.1	0.5	14.1	6.6

この表は該当する畜種のH16-23年度に出品された平均値です

分析結果に対するコメント

- ・今回は完熟と判定されました。
- ・水分の評価はやや高いとなっておりますが、これは鶏の堆肥全体に対して比べてものです。少なくとも発酵には30%以上の水分が必要で、40-60%が適正範囲となっておりますので、水分のコントロールを検討してください。
- ・窒素が低く、リン酸、苦土、石灰が高いので土壌改良には使いやすい堆肥であると思われます。

注)堆肥中の養分が多いか少ないかで堆肥品質の良否は判定できませんが土作りに用いる場合は養分が少ない方が好まれる傾向があります。

2 腐熟度判定結果

発芽試験結果画像 今回出品された堆肥の試験結果

発芽インデックス値 229

インデックス値(指数)	評価	評点	★
150以上	完熟	10	
149~100	完熟に近い中熟	8	
99~70	中熟	6	
69~30	中熟	4	
29~1	未熟	2	

この腐熟度判定は熊本県堆肥生産技術コンクールに基づく腐熟度判定です。堆肥の熟度判定は統一的な判定法は確立されていませんので、判定法が異なれば腐熟度も異なって判定される場合もあります。

なお、平成17年度より判定項目と配点を変更しております。(発芽試験の項目追加、堆積期間と切り返しの項目を堆積期間の分解率(製造方法と堆積期間により計算)に変更等)

判定項目	現物審査			製造方法		分析項目			発芽試験	総合得点
	色相	形状	臭気	副資材	分解率	水分	C/N	塩素		
(配点)	15	10	15	5	10	10	15	10	10	100
得点	11	7	15	4	9	6	7	8	10	77

熟度の程度

完熟

判定基準

総合得点	判定
0~50	未熟
51~71	中熟
76~100	完熟

堆肥品質に対するコメント

- ・色相と形状で点数が落ちていますが、一般的に発酵が進んだものは黒くなり、形状も崩れやすくなるといわれています。
- ・発芽インデックスは満点でしたので、発芽に対する影響も認められませんでした。
- ・色相、形状、水分の調整がもう少しできれば、臭気も減り完熟になると思われます。

今回の判定は以上のおりです。この判定結果を参考にして、今後も良質堆きゅう肥の生産に努めて下さい。